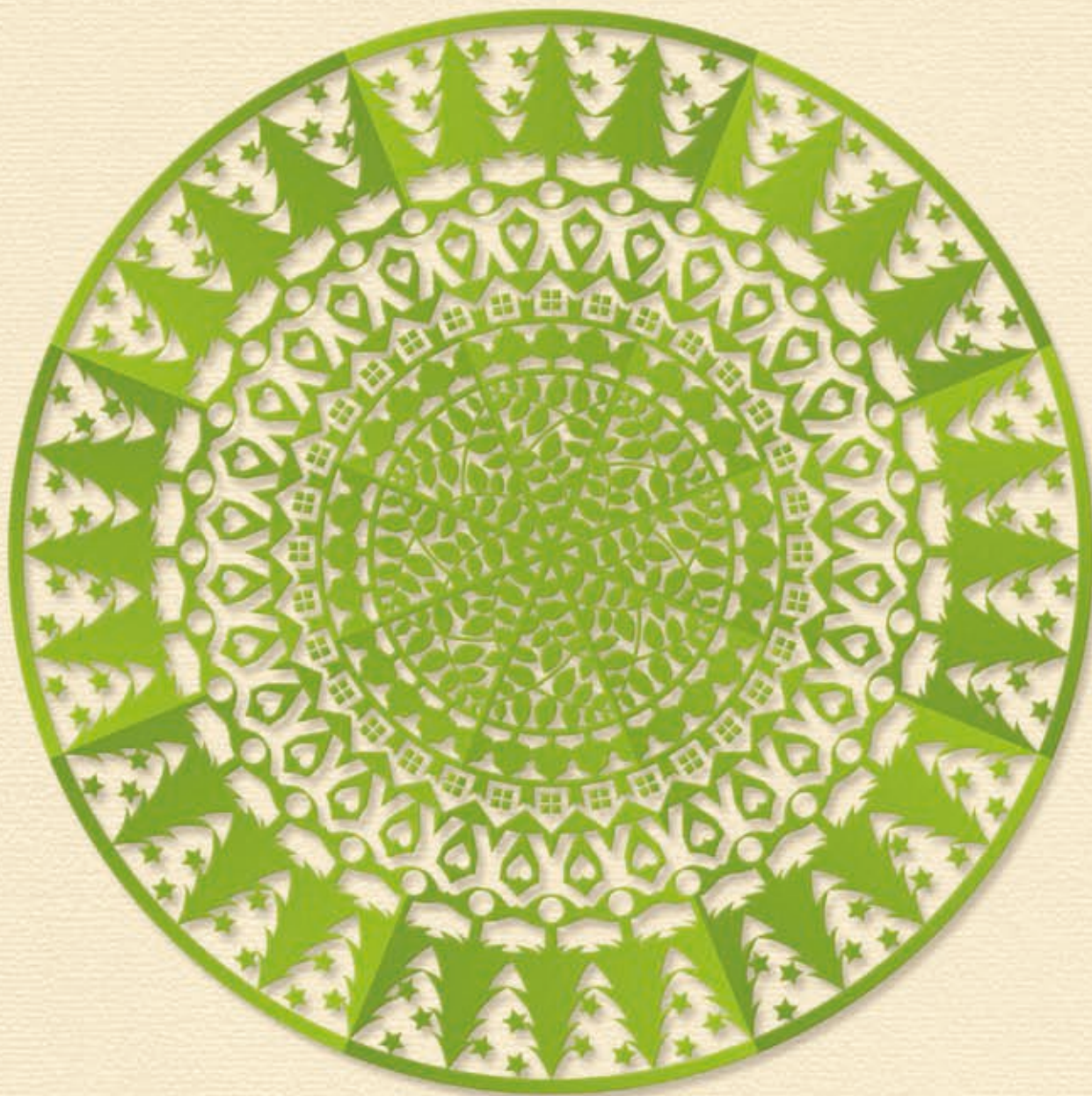


AKITA BANK

中間期ディスクロージャー誌〈情報編〉

REPORT 2012



◎CSRレポート 秋田銀行のCSR

◎トップメッセージ

◎あきぎんTopics

◎業績ハイライト

収益性・健全性／資産の健全化
貸出金の状況／預金・預り資産の状況



01	◎ トップメッセージ
03	◎ あきぎん Topics
05	◎ CSRレポート
	秋田銀行のCSR
11	◎ 業績ハイライト 収益性・健全性／資産の健全化 貸出金の状況／預金・預り資産の状況

地域に生まれ、地域とともに歩んできた 金融機関として地域の発展に取り組む

平素より秋田銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行に対するご理解を一層深めていただくため、平成24年度上半期の当行の取組みやCSRへの取組みを中心に、読みやすい形にまとめた「AKITABANK REPORT」を作成いたしました。是非ご覧いただき、ご参考にしていただければ幸いです。

■「あきぎん Evolution < 2nd Stage >」 最終年度の取組み

当行では、「輝きと存在感を持つて、お客様と地域から圧倒的に支持されとともに、地域発展に貢献できる銀行」を中期的に目指す姿として掲げ、これを実現するための第2ステージとして、平成22年度を初年度とする3か年の中期経営計画「あきぎん Evolution<2nd Stage>」に取り組んでおります。この計画では、「収益の

計画期間／平成22年度～24年度 **あきぎん Evolution < 2nd Stage >** ～進化の具現、輝きと存在感のある銀行への到達

重点方針と基本戦略

収益の増強	① 営業力の強化
	② 有価証券運用における安定的な収益の確保
	③ 生産性の向上、コスト削減
	④ 不良債権の圧縮、与信費用の削減

組織の強化	① 戦略遂行能力の向上
	② 経営管理態勢の強化
	③ 組織の活性化

地域発展への貢献	① 地域産業の成長支援
	② 地域企業の再生支援、地域の金融円滑化
	③ より質の高い金融サービスの提供
	④ CSR活動(本業を超えた社会貢献)の推進

増強、「組織の強化」、そして「地域発展への貢献」を重点方針として、これらに基づく諸施策を進めております。

計画の最終年度となる平成24年度においては、地域のお客様へ一層充実した金融サービスをご提供すべく、秋田駅東地区に新たに「東中央パーソナルプラザ」を開設したほか、従来以上に幅広い金融支援ができるよう、投資事業組合「あきた地域活性化支援ファンド2号」を設立し、再生可能エネルギー事業などの新規分野への進出や、円滑な事業承継などをバックアップする態勢を強化しております。

こうした施策を着実に進め、一層の収益力の向上ならびに経営管理態勢の強化に努めることで企業価値の向上をはかり、皆さまの期待に応える「輝きと存在感のある銀行」へ到達するよう、引き続き役員一同、精一杯の努力を続けてまいります。

■秋田銀行のCSR

本誌では、P5～10にかけ当行のCSRへの取組みについてご紹介しております。当行は創業以来、地域において円滑な金融仲介機能を発揮する、充実した金融サービス

を提供するという本業はもちろんのこと、環境・文化・スポーツ・教育など、様々な分野において地域貢献に努めてまいりました。地域の持続的な発展に向けたこうした活動を、当行では広く「CSR活動」と位置付け、職員一人ひとりが主体的に取り組むことで「地域共栄」の经营理念の実践に努めております。

地域に生まれ、地域とともに歩んできた金融機関として、今後とも地域社会の一員として模範となる活動を実践し、地域社会の発展に取り組んでまいります。

皆さまには、引き続き一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。



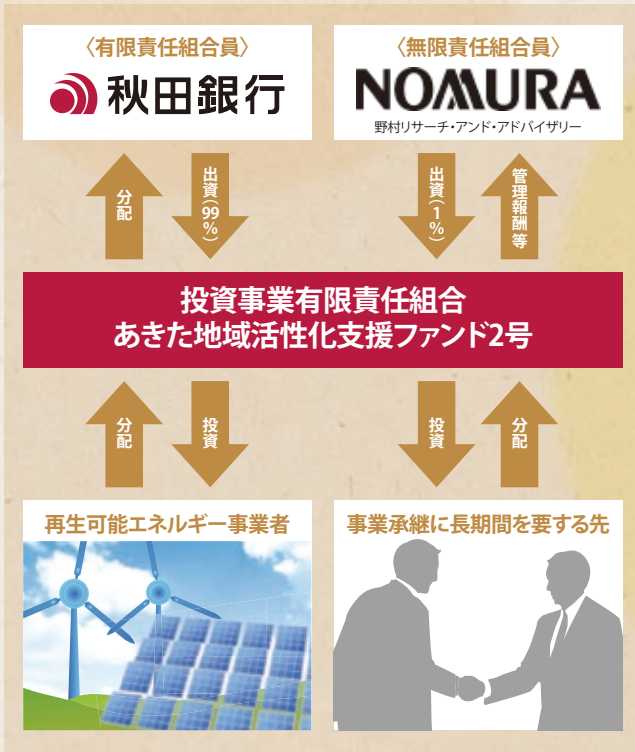
取締役頭取
藤原清悦

Profile 秋田銀行の概要(単体)

(平成24年9月30日現在)

名称	株式会社 秋田銀行 The Akita Bank, Ltd.
本店所在地	秋田県秋田市山王三丁目2番1号
創業	明治12年(1879年)1月
総資産	2兆6,171億円
預金・譲渡性預金	2兆4,272億円
貸出金	1兆4,829億円
資本金	141億円
発行済株式数	193,936千株
自己資本比率	11.57%(国内基準)
長期格付	A+(JCR)
従業員数	1,532名
店舗数	本支店・出張所99か所(秋田県内84、秋田県外15)

May 5月



秋田県においては、風力発電事業をはじめとする再生可能エネルギーに対する取組みが活発化してきているほか、事業承継が経営の重要課題として表面化してきている事業者もみられます。こうしたニーズに的確にお応えできるよう、野村リサーチ・アンド・アドバイザー株式会社と共同で「あき

「あきた地域活性化支援ファンド2号」を設立

「成長産業分野への新規参入」・「事業の円滑な承継」などに取り組む秋田県内事業者への支援

た地域活性化支援ファンド2号」を設立しました。
当ファンドを活用することにより、地域プロジェクト案件に携わる事業主体(SPC等)への投資、事業承継を予定している事業者の株式取得(現経営者から後継者への引継期間内における当該株式の保有など、融資以外の金融手法を用いた幅の広い金融支援が可能となります。

May 5月



駐日インドネシア共和国大使館との共同事業として「インドネシア経済交流セミナー」を開催しました。秋田県内の電子関連企業のお客様を中心に約120名の参加を得て、ムハンマド・ルトゥフイ駐日大使による「躍進するインドネシア経済の可能性と魅力について」の特別講演、同国大使館・工業省職員とお客様との交流セッションなどを実施しました。

「インドネシア経済交流セミナー」を開催

インドネシア共和国
駐日特命全権大使を招致

August 8月



アジア最大級の
国際食品見本市

「香港フード・エキスポ2012」に秋田銀行／秋田県ブースを出展

お取引先の海外取引支援の一環として、アジア最大級の国際食品見本市「香港フード・エキスポ」に秋田県内企業7社とともに秋田県ブースを出展しました。3日間の会期中、参加した県内企業7社の商談件数は合計234件にのぼったほか、商談会をきっかけに現地バイヤーとのコネク션을確立して販路を拡大している例もみられるなど、具体的な成果につながっています。

2012 Topics

住宅ローンをはじめとする各種ローンのほか、学資保険・医療保険・終身保険などの生命保険を取り扱う「パーソナルプラザ」を、新たに秋田駅東地区の秋田中央支店内に開設しました。平日は19時まで、土曜・日曜は10時～16時まで営業しており、ライフプランに関する資金計画について、専門スタッフが

秋田中央支店に「東中央パーソナルプラザ」を開設

県内7か所目 ライフプランの総合相談窓口

フとじっくりご相談いただけます。また、ライフステージの様々なイベントごとの収支、金融資産残高、必要保障額などの推移を無料でシミュレーションする「ライフコンサルティングサービス」により、将来の必要資金について具体的にイメージすることが可能です。併せて、秋田中央支店では平日の営業時間を19時まで延長し、日中でお来店できないお客様のニーズにお応えしています。



July 7月



October 10月

農林水産業の機械化ニーズと東京都大田区の「モノづくり」技術をマッチング

「大田区産業振興協会」と包括的業務協力協定を締結

国内有数の「モノづくり」技術が集積する大田区産業と秋田県内の農林水産業者の抱える機械化等による合理化・効率化ニーズをマッチングし、秋田県内アグリビジネスの強化をはかるため、「大田区産業振興協会」と包括的業務協力協定を締結しました。高度な技術を活かしたオーダーメイド型の機

械化実現により、県内農林水産業者の生産効率の向上をはかるとともに、開発機械の量産化に向けた県内機械産業と大田区企業とのコーディネートを行い、モノづくり産業の振興もはかります。すでに、これまで機械化が難しかった「じゅんさい」、「ワラビ粉」、「にんにく」などについて、「大規模生産・産地化」を目指して専用機械開発に着手しており、設計図・試作機の製作を進めています。



秋田銀行のCSR

わたしたちは、地域社会の一員として
模範となる活動を実践し、地域社会の発展に貢献します。



女子バスケットボール部



森づくり活動

秋田銀行のCSR活動体系

地域経済の活性化

各種商談会やセミナーの開催のほか、首都圏進出や海外取引拡大のサポートも積極的に行っています。

金融経済教育

子どものうちからお金の役割や大切さを学び、金融経済に関心を持ってもらうため、授業やイベントを行っています。

明日の人材育成

職場見学や職業体験の受入を通じて、キャリア教育を応援しています。また、インターンシップ(大学生による就業体験)も開催しています。

地域貢献活動

環境美化活動やチャリティー活動など、地域に根ざした活動を各地で行っています。

環境保全活動

「あきぎんエコ宣言」に基づく日常業務におけるCO₂削減のほか、「森づくり活動」などの積極的な環境保全活動に取り組んでいます。

地域の賑わいと元気を応援

地域社会の一員として、地域行事に進んで参加しています。また、地域のスポーツ振興のため、運動部各部による指導やスポーツイベントへの協賛などを行っています。

お客様満足度向上への取組み

お客様のご意見・ご要望を行内で共有し、サービス向上に努めています。また、営業店ロビーでは、お客様からご提供いただいた美術作品などの展示を行っています。

バリアフリーへの対応

目の不自由なお客様に対応したATMの設置のほか、耳の不自由なお客様のお手続きを補助する「コミュニケーションボード」などを全営業店に配備しています。また、バリアフリー対応の新店舗も順次拡大しています。

情報開示と対話

ディスクロージャー誌による情報開示のほか、投資家向け説明会や株主様・お客様向け説明会を行っています。

職員の成長支援と働きやすい職場づくり

各種研修の開催と自己啓発支援により、職員の成長をサポートしています。また、役職員が意見交換する場を設けて、所属部署の枠を超えたネットワークづくりを推進しています。

お客様の社会貢献を応援する商品

お客様の環境志向をサポートする融資制度の取扱いのほか、「『ふるさと秋田』子育て応援定期」の取扱いを通じて、地域ぐるみの少子化対策を応援しています。

コンプライアンス(法令等遵守)

コンプライアンスに関する定期的な自己点検のほか、集合研修や店内勉強会の開催を通じてコンプライアンスの徹底をはかっています。

お客様保護・個人情報保護

安心して秋田銀行をご利用いただくため、お客様保護等管理態勢の強化に取り組んでいます。また、「個人情報保護宣言」に基づき、お客様の個人情報の適切な保護と利用に努めています。

活動テーマ 1

地域社会の持続的な発展への貢献

地域経済の活性化、金融経済教育、環境保全活動など、地域社会の持続的な発展に向けた活動に積極的に取り組みます。

活動テーマ 2

ステークホルダーとのコミュニケーション

お客様・株主様・従業員をはじめとする、さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを重視し、一層の信頼と親しみを感じていただける銀行を目指します。

活動テーマ 3

社会の規範となる行動

役職員一人ひとりが当行の担う公共的使命と社会的責任を自覚し、法令遵守のみならず、公私にわたり倫理的行動に努めます。

地域社会の持続的な 発展への貢献

地域経済の活性化、金融経済教育、環境保護活動など、
地域社会の持続的な発展に向けた活動に積極的に取り組みます。

地域経済の
活性化

あきた未来塾

若手経営者のための経営塾

秋田県経済の将来を担う若手経営者の育成・輩出を目指し、若手経営者のための経営塾「あきた未来塾」を実施しています。



開塾頭の講話

地域産業論の第一人者であり、全国で若手経営者を対象とした「私塾」を監修、広域的なネットワーク作り尽力されている関満博氏（明星大学教授・一橋大学名誉教授を塾頭に迎え、秋田県内各地の企業から塾生が参加しています。実践的経営を学びながら、一方で、全国の経営塾メンバー、未来塾の卒業生とのつながりが生

まれ、経営者の大きな輪が県内経済に良い循環をもたらすことが期待されます。

第2期あきた未来塾カリキュラム（一部予定）

回	テーマ	内容
第1回	開講式	塾頭講話、自己紹介等
第2回	リーダーシップ	「人間魅」あるリーダーを目指して
第3回	体験演習	経営シミュレーションゲーム
第4回	IT戦略	映像言語時代の情報運用戦略
第5回	人材・組織力	組織力を強化するための部下育成法を学ぶ
第6回	経営環境	社会経済の実態と中小企業の対応戦略
第7回	企業視察・合宿	他地域の企業視察、交流
第8回	特別講義	○特別講演～事業承継 ○経営者のためのスピーチ術
第9回	経営戦略	自社の経営戦略を創出する
第10回	閉講式	塾頭講話、塾生による卒業発表、修了証書授与等
	異業種交流	東京都墨田区「若手経営者の会」との異業種交流会



塾生の自己紹介スピーチ

地域経済の
活性化

アグリビジネス支援

「秋田ブランド」の創出・育成

秋田県の基幹産業のひとつである農業を軸に、地域経済を牽引する産業や「秋田ブランド」の創出・育成などを目指しています。野村證券グループの一員で、農業関連のコンサルティングを手がける野村アグリプランニング&アドバイザリーのほか、秋田県、あきた企業活性化センターとともに県内各地の産品や地域動向などを調査のうえ、「秋田ならではのポテンシャルを秘めた」4者を選定し、個別支援を進めています。

各事業者とともに事業戦略立案・販路拡大・マーケティング・商品開発など、課題解決に取り組んでいます。



支援先のひとつ、しらかみファーマーズの「にんにく」事業



連携協定のスキーム

「秋田県農業信用基金協会」の保証付融資の取扱いを開始

アグリビジネスのサポート体制を強化するため、秋田県農業信用基金協会と債務保証契約を締結しました。これにより、同協会の保証付融資の取扱いを開始し、新たな事業に取り組む農業者の資金調達をバックアップしています。



環境保護への取組み 森づくり活動

八峰町での森づくり活動をスタート!

本年10月20日に、八峰町八森の「あきぎんの森」で第1回となる森づくり活動を行いました。

当日は役員約120名がブナやナラの苗木600本を植樹しました。植樹は平成26年度まで実施し、その後は育樹活動を継続していきます。



由利本荘市では4年目の活動を実施

由利本荘市にある「あきぎんの森」では、平成21年度から森づくり活動を実施しています。

松枯れ被害の大きかった地域の砂防

林再生を目指して植樹したクロマツの苗木は、順調に生育しており、今後3〜4年程度下刈りを続けた後は自生できると見込みです。



平成21年10月



平成24年7月



平成22年10月



平成23年7月



環境保護への取組み カーボン・オフセット

オフセット・クレジット（J・VER）の活用

当行では、平成22年度から24年度にかけて、大館北秋田森林組合、八峰町、秋田市および大館市の発行するオフセット・クレジット（J・VER）を購入しました。

このクレジットにより、役員の名刺や現金封筒のほか、当行が秋田市・大館市に寄贈している市民封筒などについてカーボン・オフセットを実施しています。



【オフセット・クレジット制度（J・VER: Japan Verified Emission Reduction）】

2008年11月から環境省がスタートさせた制度で、国内の地球温暖化対策を促進するため、間伐などの森林整備活動によるCO₂の削減・吸収量をクレジットとして認証し、売却できる制度。環境省が認定するため、クレジットの信用性も高く、企業や自治体等が自助努力で削減できないCO₂量を同制度により購入したクレジットで相殺するという地球温暖化対策の新たな手段として注目されている。

芸術・文化・スポーツ分野への
取組み

文化・芸術・スポーツ活動

地域イベントへの協賛・支援

豊かな地域づくりに向け、文化・芸術・スポーツ分野などの地域イベントへ、協賛・支援活動を積極的に行っています。秋田市で開催された「フェルメール 光の王国展 in AKITA」や「アキタミュージックフェスティバル」へ特別協賛したほか、プロ野球公式戦「東北楽天ゴールデンイーグルス×福岡ソフトバンクホークス」では、秋田県内の親子を無料観戦に招待しました。また、当行がオフィシャルパートナーを務める「秋田ノーザンハピネット」の2012・2013シーズンホーム開幕戦では、子どもたち向け各種アトラクションを実施しました。



フェルメール
光の王国展
in AKITA



アキタ
ミュージック
フェスティバル



2012-2013シーズンホーム開幕戦「エスコートキッズ」

芸術・文化・スポーツ分野への
取組み

女子バスケットボール部の活動

秋田県成年女子バスケットボールチーム 5年振り3度目の国体優勝に貢献

本年9月〜10月に開催された「ぎふ清流国体」では、秋田銀行女子バスケットボール部員を主体とする秋田県成年女子バスケットボールチームが、5年振り3度目の優勝を果たしました。

主将からひとこと

国体優勝を目標にチーム一丸となつて戦いました。秋田県内に明るいニュースを届けることができ、嬉しく思います。今後も「バスケットボール王国・秋田」を目指して練習に励みながら、子どもたちにもこうした経験を伝えていきたいと思えます。

県庁支店 保坂和音



佐竹秋田県知事への優勝報告

また、当行女子バスケットボール部では、ジュニア選手や指導者の方を対象とした「バスケットボールクリニック」を各地で開催するなど、秋田県内バスケットボール競技のレベル向上のための活動にも積極的に取り組んでいます。



鹿角市でのバスケットボールクリニック



ステークホルダーとの
コミュニケーション

ステークホルダーとの コミュニケーション

地域の皆さまとのコミュニケーション

コミュニティベースの開放



外旭川支店

横手条里支店
と外旭川支店では、地域の皆さまにコミュニティスペース（会議室）を開放し、文化活動等にご利用いただいています。

地域のPRを応援

店舗の周辺エリアや秋田県の観光・特産品などを紹介し、地域のPRを応援しています。



盛岡支店



藤里支店

ロビー展

店舗のロビーでは、保育園児による似顔絵から、本格的な絵画や美術作品まで、さまざまな展示コーナーを設置し、地域の皆さまの作品を紹介しています。



新屋支店



稲川支店



ステークホルダーとの
コミュニケーション

ホームページをリニューアル

本年11月1日より、当行のホームページを全面リニューアルしました。今回のリニューアルでは、デザインを一新したほか、

各種機能を充実させることにより、利便性が大きく向上しました。



使いやすさUP!

- 音声読み上げ機能
- サイト内検索機能の向上
- 店舗・ATM検索ページの充実

便利さUP!

- Web申込み対象ローンの拡大
- パーソナルプラザ来店予約機能の導入

収益性・健全性

AKITA BANK REPORT 2012

コア業務純益^(※)…44億円

コア業務純益は、コスト低減への取組みにより経費が減少したことを主因として、前期比2億円増加し、**44億円**となりました。

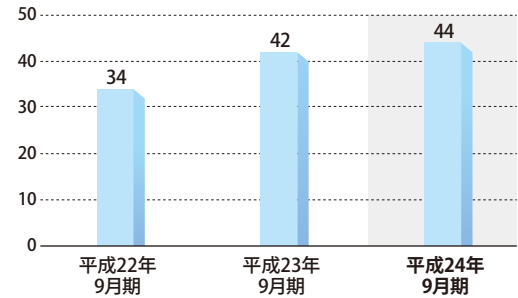
用語解説

【コア業務純益】

銀行の本来業務(預金、貸出、為替、有価証券など)から得られた利益である「業務純益」から、期ごとに特殊な要因で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券関係損益」を除いたもので、「銀行の基本的な利益」を示します。

■ コア業務純益の推移

(単位:億円)



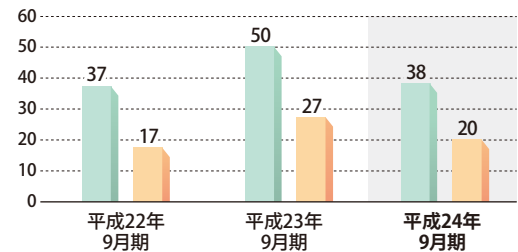
経常利益…38億円 中間純利益…20億円

経常利益は、与信関係費用の増加に加え、株式等関係損益が悪化したことから、前期比12億円減少し、**38億円**となりました。

また、中間純利益は、前期比7億円減少し、**20億円**となりました。

■ 経常利益と中間純利益の推移

(単位:億円)

自己資本比率(単体)…11.57%
Tier I^(※)比率(単体)…11.04%

自己資本比率は、前年同期末比0.16ポイント低下し、11.57%となりましたが、国内基準行に求められる4%を大きく上回っております。

また、自己資本の内訳についても、劣後債等による調達は行っており、Tier Iは普通株と剰余金による構成となっており、健全性は十分に保たれております。

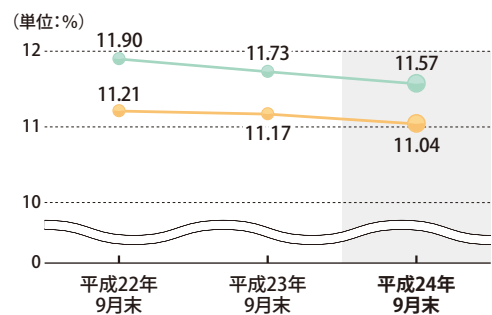
用語解説

【Tier I】

自己資本は、資本金、資本剰余金、利益剰余金等の基本的項目(Tier I)と、劣後債、一般貸倒引当金等の補完的項目(Tier II)で構成されています。Tier I比率とは、基本的項目のみで算出した比率で、一般的にこの比率が高い場合「自己資本の質が高い」と言われております。

■ 単体自己資本比率・Tier I比率の推移

(単位:%)

格付け^(※)…A+

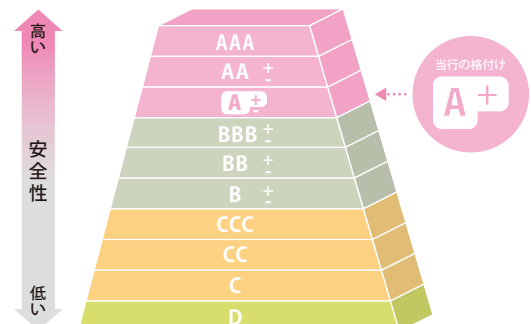
当行は、日本格付研究所(JCR)から長期優先債務について格付けランクの上位に位置する「A+」を取得しております。

「A」は、「債務履行の確実性は高い」と定義されており、当行の財務内容の健全性が評価されていることを示しております。

用語解説

【格付け】

格付けとは企業が発行する債券が「約束通りに元本および利息が支払われる確実性の程度」を利害関係のない第三者(格付け会社)が判断し、その結果を簡潔な記号にしたものです。なお、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。



不良債権への対応

当行では、従来より貸出資産の健全化に積極的に取り組んでおります。具体的には、本部内に設置している「企業経営支援室」をはじめ、各営業店において企業の経営改善に向けた各種支援活動を積極的に行っております。

平成24年9月期については、不良債権処理費用が増加したことから、与信費用は前期比27億円増加し4億円となりました。

また、平成24年9月末の不良債権額(金融再生法開示債権ベース)は636億円ですが、この不良債権が将来回収不能となった場合の備えである保全額(貸倒引当金、担保・保証)は

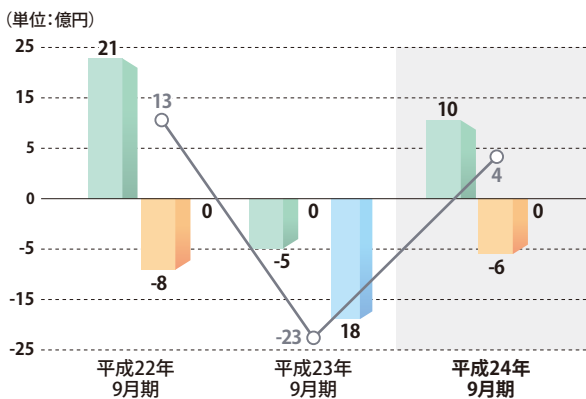
532億円であり、その保全率は83.62%と、高い水準を確保しております。

なお、金融再生法開示債権のうち、危険債権および要管理債権は、現在事業を継続されているお取引先への債権です。すべてが回収不能に至るものではありません。仮に、金融再生法開示債権がすべて回収不能になった場合、追加に必要な不良債権処理費用は104億円(金融再生法開示債権636億円ー保全額532億円)ですが、「利益剰余金」(950億円)だけでも十分対応可能です。

■ 償却・引当の状況

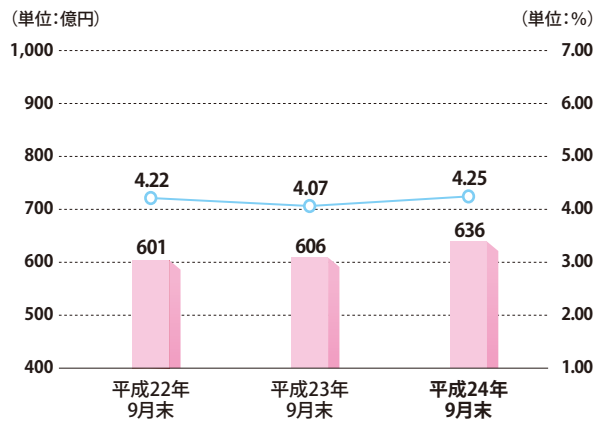
- 不良債権処理費用
- 一般貸倒引当金繰入額
- 一般貸倒引当金戻入益
- 与信費用

※与信費用＝不良債権処理費用＋一般貸倒引当金繰入額－一般貸倒引当金戻入益



■ 金融再生法開示債権推移

- 不良債権比率
- 金融再生法開示債権



■ 金融再生法開示債権の状況 平成24年9月末現在

区分	残高 (A)	保全 (B+C)=(D)			保全率 (%)
		担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	合計 (D)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権(※1)	166	43	123	166	100.00
危険債権(※2)	459	285	76	361	78.68
要管理債権(※3)	12	5	1	5	44.75
合計	636	332	199	532	83.62

注1 / 単位未満四捨五入 注2 / 保全率=(D)÷(A)×100

※1【破産更生債権及びこれらに準ずる債権】
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により、経営破綻に陥っているお取引先に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

※2【危険債権】
お取引先の財政状態および経営成績が悪化し、契約にしたがった債権の元本回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

※3【要管理債権】
3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権(金利の減免や利息の支払い、元本の返済を猶予した貸出金など)です。

用語解説

貸出金の状況

AKITA BANK REPORT 2012

貸出金の状況

貸出金は、事業先向け貸出金および個人向け貸出金が増加したことを主因として、前年同期末比68億円増加し、1兆4,829億円となりました。

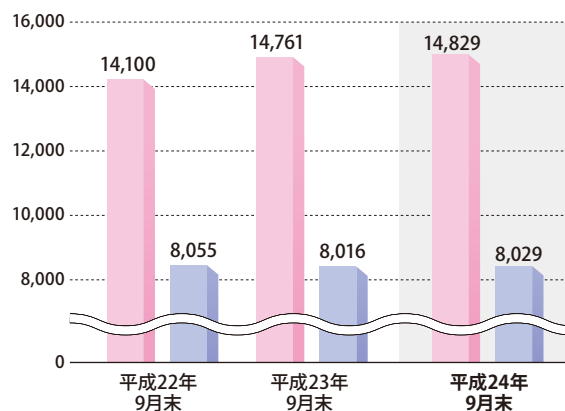
平成24年9月末における貸出金残高に占める中小企業等向け貸出金の割合は54.1%となっております。

また、貸出金残高の秋田県内におけるシェアは、51.5%と高い水準を維持しております。

貸出金残高

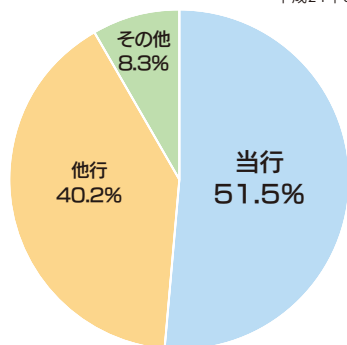
■ 貸出金 ■ うち中小企業等向け貸出金

(単位: 億円)



秋田県内シェア (金融機関別)

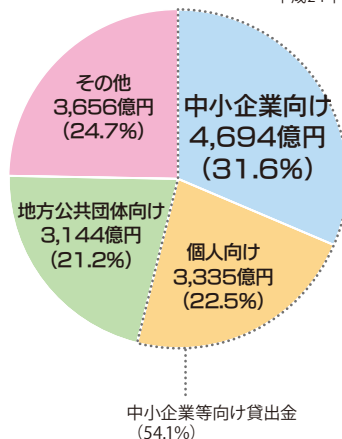
平成24年6月末



- 他行………都銀・地銀・第二地銀
 - その他………信用金庫・信用組合
- [資料: 預金・貸出金一覧(日本金融通信社)ほか]

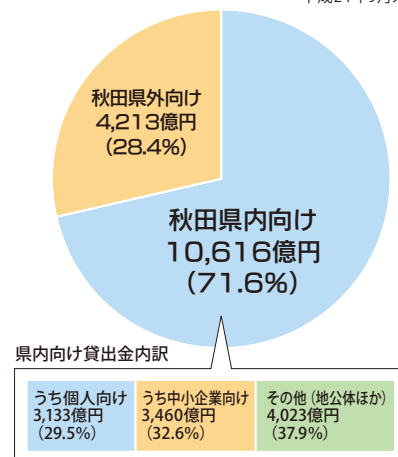
貸出先別

平成24年9月末



県内外別

平成24年9月末

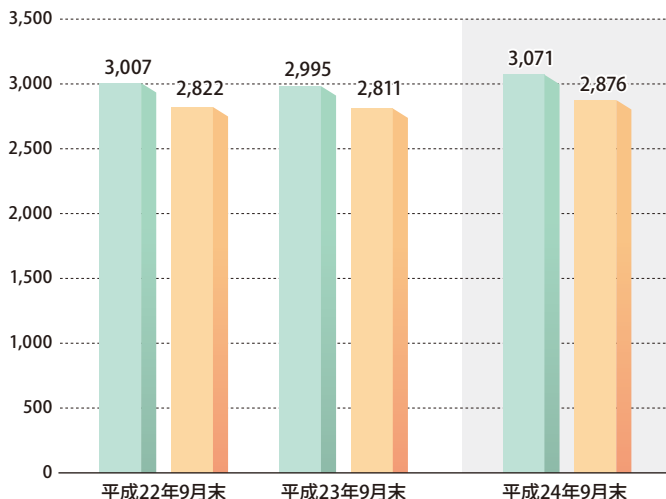


個人ローンの状況

個人ローンの推移

■ 個人ローン ■ うち住宅ローン

(単位: 億円)



個人ローンは、住宅ローンが前年同期末比65億円増加したことを主因として、前年同期末比76億円増加いたしました。

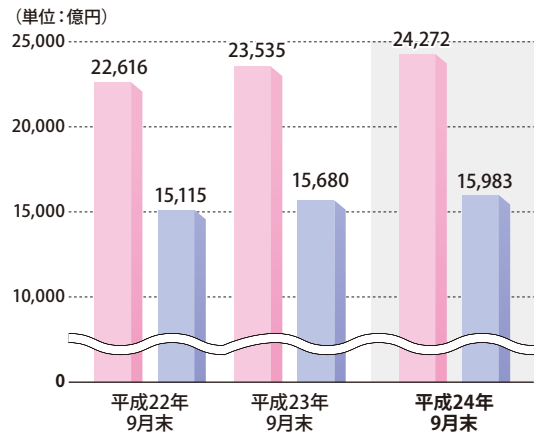
預金の状況

預金・譲渡性預金は、個人預金、法人預金のほか、地公体からの預金なども好調に推移し、前年同期末比737億円増加し、2兆4,272億円となりました。

平成24年9月末の預金・譲渡性預金残高に占める秋田県内残高の割合は90.1%となっております。

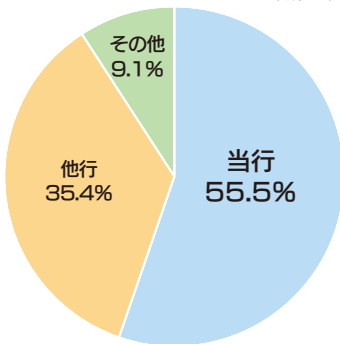
また、預金残高の秋田県内におけるシェアは、55.5%と高い水準を維持しております。

■ 預金残高 ■ 預金・譲渡性預金 ■ うち個人預金



■ 秋田県内シェア (金融機関別)

平成24年6月末

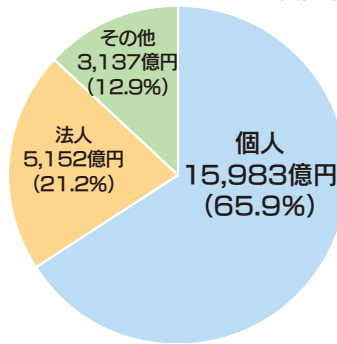


- 他行………都銀・地銀・第二地銀
- その他………信用金庫・信用組合
- 譲渡性預金は含まれておりません。

[資料:預金・貸出金一覧(日本金融通信社)ほか]

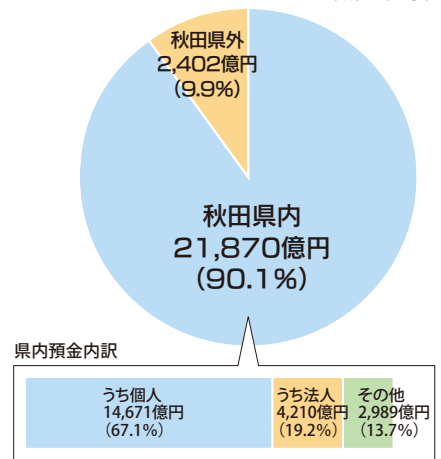
■ 預金者別

平成24年9月末



■ 県内外別

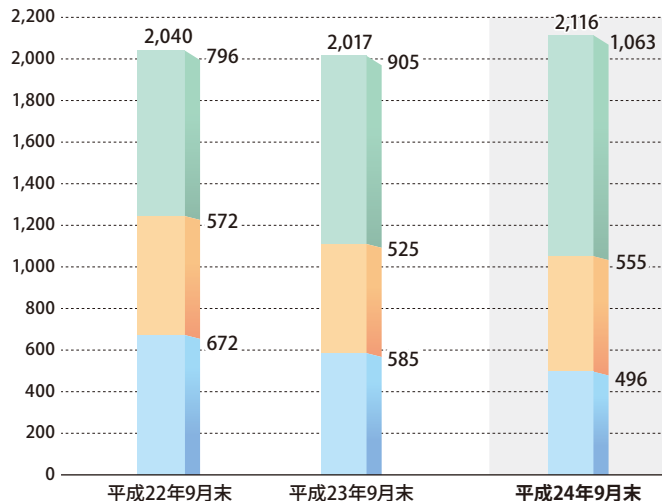
平成24年9月末



預り資産^(※)残高の推移

■ 預り資産残高の推移 ■ 公共債残高 ■ 投資信託残高 ■ 生命保険残高

(単位:億円)



預り資産は、公共債は減少したものの、投資信託および生命保険の販売が順調に推移したことから、前年同期末比99億円増加し、2,116億円となりました。

用語解説

【預り資産】

預金のほか公共債、投資信託、生命保険など金融商品を総称して「預り資産」と呼びます。また、個人年金保険、一時払終身保険を総称して「生命保険」と呼んでおります。

AKITA BANK REPORT 2012